

「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2023 in 広島」 の開催結果概要等について

1 要旨

9月16、17日に開催した「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2023 in 広島」開催結果概要及び今後の取組について報告する。

2 現状・背景

データ利活用の重要性・有用性の発信や次世代を担うデジタル人材の育成等を目的として、インフラマネジメント基盤「DoboX」のデータを用いて製作した地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアについて、コンテストを開催し、優秀作品を選考することとしている。（作品募集期間：10月2日～11月30日）

3 概要

コンテストの開催に先立ち、プログラミングの経験のない方でも気軽に応募できるようアプリケーションの開発等を支援するイベントを9月16日、17日に開催した。イベントでは、IT関連事業者や、建設事業者、学生など22名が参加し、参加者と職員が協働して地域の課題解決に取り組み、5作品のアプリ等が提案された。

【作品一覧】

区分	作品概要	利用データ
Aチーム	DoboXの詳細な3次元データを活用して、3次元上でよりリスクの高い場所を視覚的に表現できるアプリを提案	3D都市モデル 3次元点群データ 土砂災害警戒区域
Bチーム	避難所に逃げ遅れた人をあぶりだし、要避難者に対し声掛けができるアプリを提案	3D都市モデル 土砂災害警戒区域 避難所
Cチーム	コミュニティバスの情報を経路検索サービスで活用できるよう路線図や時刻表等をデータ化	—
Dチーム	AIによる浸水予測を行い逃げるべき方向などを確認できるアプリを提案	3D都市モデル 洪水浸水想定区域 避難所
Eチーム	点字ブロックが途切れている区間を、デジタル技術を活用して補完し、視覚障害者を支援するアプリを提案	3D都市モデル



県職員から地域課題の説明



参加者による成果発表（Aチーム）

4 今後の取組

今後は、大学とも連携したアイデアソンを実施する予定としており、この度、報告したハッカソンやコンテストなどの様々な取組を通じて、デジタルリテラシー向上、新たなサービス・付加価値の創出につなげていく。